

看護専門科目	共通基盤看護学					
看護学科	必修	2単位	実習	平成30年度	前期	3年次
科目名	共通基盤看護学実習Ⅲ（セルフケアを支える看護） Adult Health Nursing Practicum III (Supporting Patient's Self Care)					
担当教員	◎岩本淳子	松井利江	未定	未定	未定	未定
目的	慢性（終末を含む）の経過をたどる患者および家族の健康問題を診断し、療養生活の向上を目指す看護を実践するための基礎的能力を習得する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性の経過をたどる対象の健康問題に対する反応を包括的にとらえることができる。 2. 慢性の経過をたどる対象にとって最も重要な看護問題を特定できる。 3. 可能性のある行路をふまえ、セルフマネージメントの促進を支援する方法論を用いて個別的な看護計画を立案できる。 4. 対象の慢性病の受け入れを促し、病気と共に生きることを支援する援助を行うことができる。 5. 実施した援助を評価し、計画を修正しながら看護の継続を考えることができる。 6. 医療者としての倫理的姿勢をもって行動することができる。 7. 看護チームの一員としての自覚を持って行動することができる。 					
他科目との関連	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目は、以下の科目のうちの既習内容を基盤とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 共通専門基礎科目のうちの【体のしくみと医療】科目群 2) 看護専門科目のうちの【共通基盤看護学】科目群 2. 本科目は、共通基盤看護学実践論Ⅳへ直接的に関連する。 					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	実習評価表に記載する看護過程展開項目の到達度				0.7
	レポート	実習評価表に記載する上記を除く項目（ケア実践や姿勢・学習の取り組み）の到達度				0.3
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	実習要綱参照					
参考資料	関連科目の講義中に担当教員から配布された資料および提示された参考図書					
備考 (受講上注意、事前学習等)	ガイダンスの時期に実習オリエンテーションを行うので、予定を確認して下さい。実習オリエンテーションを欠席した者は授業を受講することができません。体調管理をして学習に臨んで下さい。					